

2-3 うるおい空間の創出

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
1	保存樹、保存樹林、自然環境保護地区の保護	環境局 環境保全課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】鹿児島市の自然環境の保全及び市民の自然保護意識の高揚、啓発を図る。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】保存樹等及び自然環境保護地区の指定及び保護 ・対象保存樹等 保存樹:42本、保存樹林:12箇所、自然環境保護地区:2地区	市単	[概算コスト] 11,948 (内訳) ・決算額 4,721 ・人件費 7,227 (0.90人)	[概算コスト] 10,221 (内訳) ・決算額 3,090 ・人件費 7,131 (0.90人)	[概算コスト] 11,906 (内訳) ・決算額 4,842 ・人件費 7,064 (0.90人)	[概算コスト] 14,069 (内訳) ・予算額 7,071 ・人件費 6,998 (0.90人)	保存樹定期診断(年2回) (単位:本)	[目標値] 42 [実績値] 42 <達成率> 100.0%	[目標値] 42 [実績値] 42 <達成率> 100.0%	[目標値] 42 [実績値] 42 <達成率> 100.0%	[目標値] 42 [実績値] 42 <達成率> 100.0%	樹勢回復本数 (単位:本)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 3 <達成率> 60.0%	A	A	継続 (理由) 本市の自然環境の保全及び市民の自然保護意識の高揚、啓発を図るために、保存樹等の保護は必要である。 なお、保存樹等の所在地や保護していることについて、市民に殆ど知られていないことから、周知広報に努めること。
2	自然遊歩道の利用促進	環境局 環境保全課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】市民が山歩き等を通じて、美しい自然に接し、心身の健康を増進するとともに、より自然を愛護する意識を高め、さらに自然とのふれあいを進める場を提供する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】イラストマップの作成 ・道標・案内板の設置 ・草刈り・清掃などの維持管理業務 ・自然遊歩道協力員制度	市単	[概算コスト] 4,510 (内訳) ・決算額 2,101 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 5,404 (内訳) ・決算額 3,027 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 4,216 (内訳) ・決算額 1,861 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 4,745 (内訳) ・予算額 2,412 ・人件費 2,333 (0.30人)	自然遊歩道維持管理(案内板の設置など) (単位:件)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	自然遊歩道の異常等に関する報告の件数 (単位:件)	[目標値] 9件以下 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 9件以下 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 9件以下 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 9件以下 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 自然と触れ合う場を確保することで、市民の心身の健康を増進するとともに、自然保護意識の高揚が図られることから、自然遊歩道の利用促進は必要である。
3	緑の街並みづくり推進事業	建設局 公園緑化課	助成・育成	○事業開始年度 平成17年度 【概要】市街化区域内において市が管理する公共施設(学校を除く)について、屋上や壁面の緑化整備を行う。また、同区域内の民間の住宅や事業所の屋上・壁面の緑化に対し、助成を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】建築物屋上、壁面緑化助成事業 屋上緑化:緑化面積3㎡以上、補助率1/2、上限額500千円 壁面緑化:緑化面積10㎡以上、補助率1/2、上限額100千円 ・市が管理する公共施設の屋上・壁面緑化整備	市単	[概算コスト] 9,398 (内訳) ・決算額 7,471 ・人件費 1,927 (0.24人)	[概算コスト] 9,073 (内訳) ・決算額 7,171 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 7,218 (内訳) ・決算額 5,334 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 11,208 (内訳) ・予算額 9,342 ・人件費 1,866 (0.24人)	民間建築物の屋上・壁面緑化申請件数 (単位:件)	[目標値] 20 [実績値] 11 <達成率> 55.0%	[目標値] 20 [実績値] 14 <達成率> 70.0%	[目標値] 20 [実績値] 6 <達成率> 30.0%	[目標値] 20 [実績値] 6 <達成率> 30.0%	屋上・壁面緑化面積(公共施設を含む累計) (単位:㎡)	[目標値] 9,800 [実績値] 8,588 <達成率> 87.6%	[目標値] 9,800 [実績値] 9,490 <達成率> 96.8%	[目標値] 9,800 [実績値] 10,052 <達成率> 102.6%	[目標値] 9,800 [実績値] 9,800 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
4	花と緑のハーモニー事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成15年度 【概要】植栽後、数年が経過し、大きくなった樹木等は、大量の落葉の発生や日照権問題、根による緑石や舗装の隆起、汚水管への侵入など、様々な問題を引き起こすことから、それらの樹木について植替えや適正配置を行うことで、緑豊かな環境を維持しながら、美しく快適で潤いと安らぎのある都市空間を創出する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】街路樹や公園樹について、道路や公園の施設改良整備にあわせて樹木の間引きや植替え等を行う。また、隆起根については、切断処理や伸長を防ぐためのシートの埋設等を行う。	国補助	[概算コスト] 97,632 (内訳) ・決算額 91,850 ・人件費 5,782 (0.72人)	[概算コスト] 103,292 (内訳) ・決算額 97,587 ・人件費 5,705 (0.72人)	[概算コスト] 61,529 (内訳) ・決算額 55,878 ・人件費 5,651 (0.72人)	[概算コスト] 49,739 (内訳) ・予算額 44,140 ・人件費 5,599 (0.72人)	街路・公園樹の整備改良発注件数 (単位:件)	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 21 [実績値] 21 <達成率> 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 12 <達成率> 85.7%	美しく快適で潤いと安らぎのある空間の創出	[目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値]	[目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値]	[目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値]	[目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値] [目標値] [実績値] [実績値]	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
5	市電軌道敷緑化整備事業	建設局 公園緑化課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成18年度 【概要】ヒートアイランド現象の緩和や都市景観の向上を図るため、市電の軌道敷について、芝生による緑化整備を行い、潤いと安らぎのある都市空間を創出する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】道路併用軌道区間(8.9km)の緑化整備	国補助	[概算コスト] 297,701 (内訳) ・決算額 289,992 ・人件費 7,709 (0.96人)	[概算コスト] 229,294 (内訳) ・決算額 221,688 ・人件費 7,606 (0.96人)	[概算コスト] 207,479 (内訳) ・決算額 199,944 ・人件費 7,535 (0.96人)	[概算コスト] 64,222 (内訳) ・予算額 60,490 ・人件費 3,732 (0.48人)	緑化整備の工事・委託件数 (単位:件)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	整備区間延長(累計) (単位:m)	[目標値] 6,460 [実績値] 6,460 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,740 [実績値] 7,740 <達成率> 100.0%	[目標値] 8,870 [実績値] 8,870 <達成率> 100.0%	[目標値] 8,870 [実績値] 8,870 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 施工が完了した併用軌道の緑化整備は、都市景観・魅力の向上に大きく寄与しており、引き続き、適正な維持管理を行っていく必要がある。
6	花いっぱい運動推進事業	建設局 公園緑化課	啓発・広報	○事業開始年度 平成22年度 【概要】第28回全国都市緑化ごしまフェアを契機として高まった、花と緑を愛する機運を継続させるため、本市の花いっぱい運動を市民・事業者との協働で推進する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】まちなかへの立体花壇の設置(22年度) (中央駅前広場、中央公園、みなと大通り公園、鹿児島駅前広場) ・花壇の花苗植付けデザインの募集(22年度~)	市単	[概算コスト] 7,702 (内訳) ・決算額 5,775 ・人件費 1,927 (0.24人)	[概算コスト] 5,315 (内訳) ・決算額 3,413 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 5,484 (内訳) ・決算額 3,600 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 5,466 (内訳) ・予算額 3,600 ・人件費 1,866 (0.24人)	花壇デザイン応募件数 (単位:件)	[目標値] 20 [実績値] 3 <達成率> 15.0%	[目標値] 20 [実績値] 115 <達成率> 575.0%	[目標値] 20 [実績値] 36 <達成率> 180.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	市民・事業者と協働で設置された立体花壇数 (単位:箇所)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 立体花壇の維持管理業務は、他の花壇と同様に管理するため、「花と緑のいきいき事業」と一体的に実施すべきである。

2-3 うるおい空間の創出

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
7	花と緑のまちづくり協働事業	建設局 公園緑化課	啓発・広報	○事業開始年度 平成22年度  【概要】市民参加による緑化や、花と緑あふれるまちづくりを推進するため、花の苗の配布、錦江湾公園はなまつりや花と緑のコンクールの開催などにより、市民の緑化意識の高揚を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・花いっぱい運動の推進(町内会等への花苗の配布) ・歩道緑地帯(街路樹)の自主的な管理の奨励(240団体) ・錦江湾公園はなまつりの開催(5月中旬) ・花のまちづくりコンクールの開催(隔年実施)	市単	[概算コスト] 18,274 (内訳) ・決算額 12,492 ・人件費 5,782 (0.72人)	[概算コスト] 16,916 (内訳) ・決算額 11,211 ・人件費 5,705 (0.72人)	[概算コスト] 18,596 (内訳) ・決算額 12,945 ・人件費 5,651 (0.72人)	[概算コスト] 18,183 (内訳) ・予算額 12,584 ・人件費 5,599 (0.72人)	花の苗配布先花壇管理団体数 (単位:団体)	[目標値] 150 [実績値] 159 <達成率> 106.0%	[目標値] 150 [実績値] 167 <達成率> 111.3%	[目標値] 150 [実績値] 169 <達成率> 112.7%	[目標値] 150 [実績値] 169 <達成率> 112.7%	花の苗配布先花壇管理団体の花壇面積 (単位:m <sup>2</sup> )	[目標値] 5,100 [実績値] 4,596 <達成率> 90.1%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,763 <達成率> 93.4%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,998 <達成率> 98.0%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,998 <達成率> 98.0%	A	B	見直し  (理由) 緑化意識の普及啓発を図り、花と緑のまちづくりを推進するために必要な事業であるが、緑化意識を一層高める効果的なイベントとして、錦江湾公園はなまつりだけでなく、春・秋の木を活用するなど、実施期間や内容を見直すべきである。
8	平川動物公園リニューアル事業	建設局 平川動物公園	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成19年度  【概要】新しい展示方式の導入や利用者の利便性向上により、魅力ある動物公園に再生するため、21年度から27年度までの期間で計画的にリニューアルを進め、入園者の増を図る。 【対象者】市民及び県内外の来園者 【具体的な活動内容】	国補助	[概算コスト] 953,273 (内訳) ・決算額 945,564 ・人件費 7,709 (0.96人)	[概算コスト] 742,642 (内訳) ・決算額 735,036 ・人件費 7,606 (0.96人)	[概算コスト] 693,781 (内訳) ・決算額 686,246 ・人件費 7,535 (0.96人)	[概算コスト] 463,776 (内訳) ・予算額 456,311 ・人件費 7,465 (0.96人)	施工ゾーン数 (単位:ゾーン)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 4 <達成率> 133.3%	来園者数 (単位:人)	[目標値] 480,000 [実績値] 550,662 <達成率> 114.7%	[目標値] 510,000 [実績値] 630,535 <達成率> 123.6%	[目標値] 540,000 [実績値] 611,945 <達成率> 113.3%	[目標値] 570,000 [実績値] 611,945 <達成率> 107.2%	A	A	継続  (理由) 市民だけでなく、県内外の来園者に親しまれる魅力ある動物公園に再整備するため、必要な事業である。
9	コアラの種の保存推進事業	建設局 平川動物公園	その他	○事業開始年度 平成23年度  【概要】平川動物公園では1984年にコアラが来園して以来、延べ56頭が誕生し、ピーク時には27頭を飼育していたが、近年では減少傾向にある。その原因の一つと考えられる近親交配を避けるため、オーストラリアからコアラの新規個体を導入し、コアラの種の保存を推進する。 【対象者】市民及び県内外の来園者 【具体的な活動内容】コアラの種の保存について、日本とオーストラリアで相互に協力することが確認されたことを踏まえ、平川動物公園のコアラ飼育関係者がオーストラリアのドリームワールド等を訪問し、コアラの人工授精等について研修を受けるなどの取組を継続的に進める。	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 1,671 (内訳) ・決算額 1,354 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 1,598 (内訳) ・決算額 1,284 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 1,670 (内訳) ・予算額 1,359 ・人件費 311 (0.04人)	オーストラリア動物園との交流・研修実施回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	オーストラリアからのコアラ個体導入数 (単位:頭)	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	A	A	継続  (理由) 動物公園で飼育しているコアラの頭数の減少を防ぎ、将来にわたりコアラの種を保存するため、必要な事業である。
10	都市公園防災事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成19年度  【概要】公園における自然法面の崩壊対策や排水処理対策を施すことにより、災害に強い公園づくりを進める。 【対象者】周辺住民 【具体的な活動内容】 平成19年度～24年度 ふたご座公園法面崩壊対策 平成25年度～ 黒ちよか公園法面崩壊対策 ※当該表の期間外に完了したもの 城山公園の排水処理対策(19～21年度) きりんさん公園の法面崩壊対策(20～21年度)	国補助	[概算コスト] 3,708 (内訳) ・決算額 3,066 ・人件費 642 (0.08人)	[概算コスト] 31,902 (内訳) ・決算額 30,000 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 23,162 (内訳) ・決算額 21,278 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 3,672 (内訳) ・予算額 3,050 ・人件費 622 (0.08人)	災害対策(整備工事)を行った公園数 (単位:公園)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	崖下住宅のうち安全性が向上した住宅戸数 (単位:戸)	[目標値] 23 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 23 [実績値] 13 <達成率> 56.5%	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	A	A	継続  (理由) 公園利用者及び周辺住環境の安全性の向上を図るため、必要な事業である。
11	都市公園再整備事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成4年度  【概要】 既設公園の広場など、公園施設の改良及び補修等を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 公園の広場、遊具、トイレ等の施設改良及び補修等 ※公衆トイレの改修及び優先トイレの設置は、年次的に実施	国補助	[概算コスト] 99,078 (内訳) ・決算額 96,508 ・人件費 2,570 (0.32人)	[概算コスト] 78,051 (内訳) ・決算額 75,516 ・人件費 2,535 (0.32人)	[概算コスト] 48,249 (内訳) ・決算額 45,737 ・人件費 2,512 (0.32人)	[概算コスト] 60,992 (内訳) ・予算額 58,504 ・人件費 2,488 (0.32人)	施設改良を行った公園数 (単位:公園)	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 2 <達成率> 50.0%	公園内における事故の発生件数 (単位:件)	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	A	A	継続  (理由) 都市公園の安全性や利便性・快適性の向上を図るため、必要な事業である。 なお、設置する遊具については、画一的に整備するのではなく、利用状況を把握するなど、必要に応じて整備すること。
12	都市公園安心安全対策推進事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成21年度  【概要】都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業計画(以下「事業計画」という。)に基づき、バリアフリー化や老朽化した公園施設の改修・更新を行い、誰もが安心して安全に利用できる都市公園の整備を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】都市公園の園路等のバリアフリー化や優先トイレの整備、遊具等の公園施設の改修・更新を行う。 バリアフリー化:園路勾配の緩和、スロープの設置、水飲場の改修、優先トイレの設置、駐車場の改修等 改修・更新:遊具、休養施設、管理施設の改修等	国補助	[概算コスト] 84,979 (内訳) ・決算額 81,767 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 82,161 (内訳) ・決算額 78,992 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 57,945 (内訳) ・決算額 54,805 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 65,314 (内訳) ・予算額 62,204 ・人件費 3,110 (0.40人)	事業計画に基づきバリアフリー化を行った公園数(累計) (単位:公園)	[目標値] 21 [実績値] 9 <達成率> 42.9%	[目標値] 21 [実績値] 12 <達成率> 57.1%	[目標値] 21 [実績値] 16 <達成率> 76.2%	[目標値] 21 [実績値] 16 <達成率> 76.2%	公園内における事故の発生件数 (単位:件)	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	A	G	終了  (理由) 5か年計画である「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業計画」が終了するため、25年度で終了する。